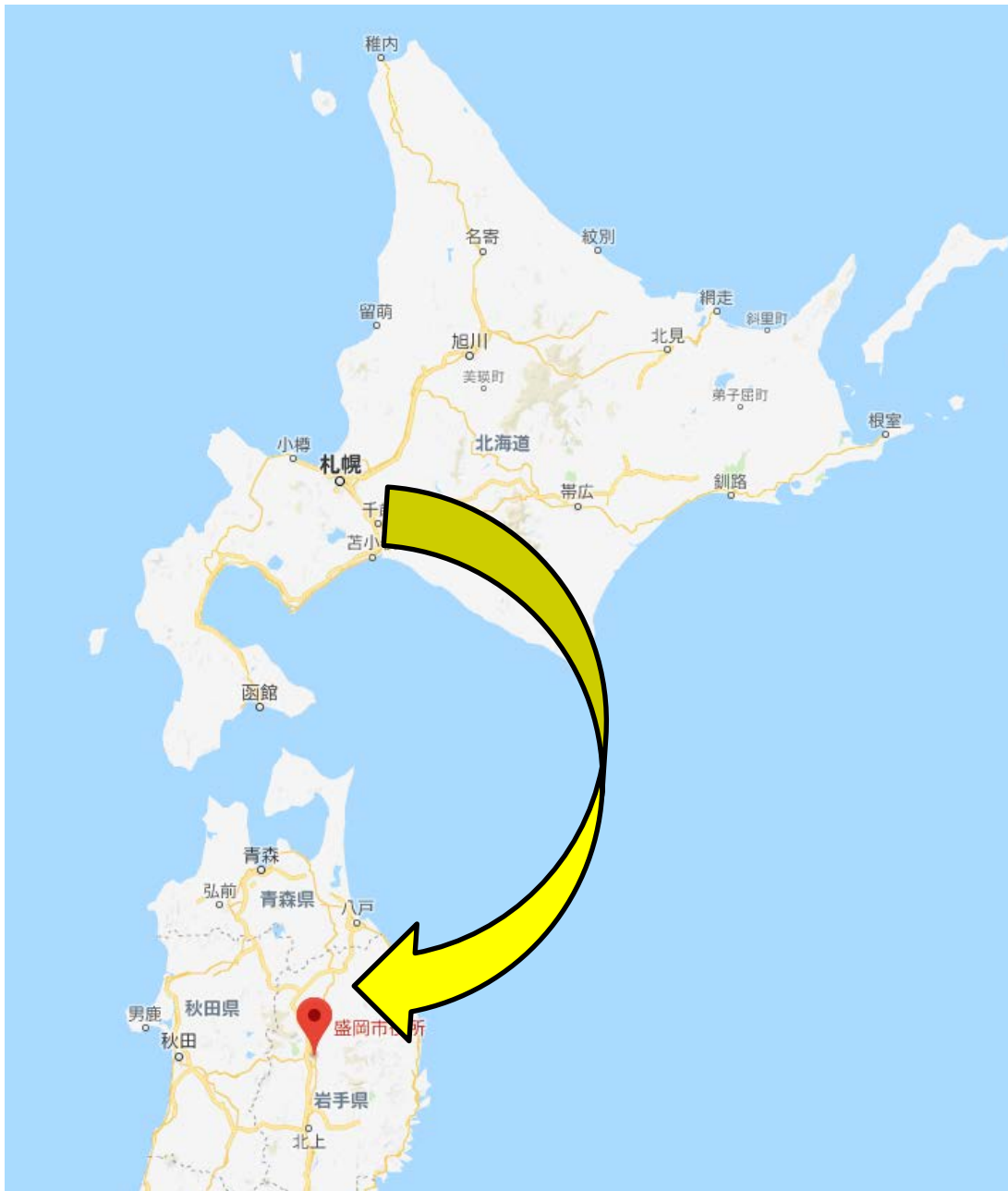


# 平成30年度政策評価に関する 統一研修(札幌会場)

## 盛岡市の行政評価制度について

平成30年12月7日

盛岡市市長公室企画調整課 奥野 毅明



札幌～盛岡  
約600km

飛行機で 2時間

新幹線で 5時間

船・バスで 15時間

# 盛岡市の名物



わんこそば



盛岡冷麺



盛岡じゃじゃ麺



南部鉄器



さんさ踊り



ベアレンビール

(画像出典: もりおか特産品物語, 盛岡市)

# 本日の内容

- 1 取組の経緯
- 2 当初の行政評価システム
- 3 行政評価システムの見直し
- 4 現在の行政評価システム
- 5 これからの取組

# 1 取組の経緯

## (1) 行政評価導入当初の経緯

平成13年度 事務事業評価の試行

平成14年度 施策評価に着手

平成16年度 政策評価の実施

施策別予算配分方式の導入

・  
・  
・

平成27年度 新しい行政評価システムの導入

# 1 取組の経緯

## (2) 行政評価導入の背景

- 中央省庁における行財政改革の推進
- 公共事業の優先度判断の必要性
- 市民への説明責任拡大の流れ

# 1 取組の経緯

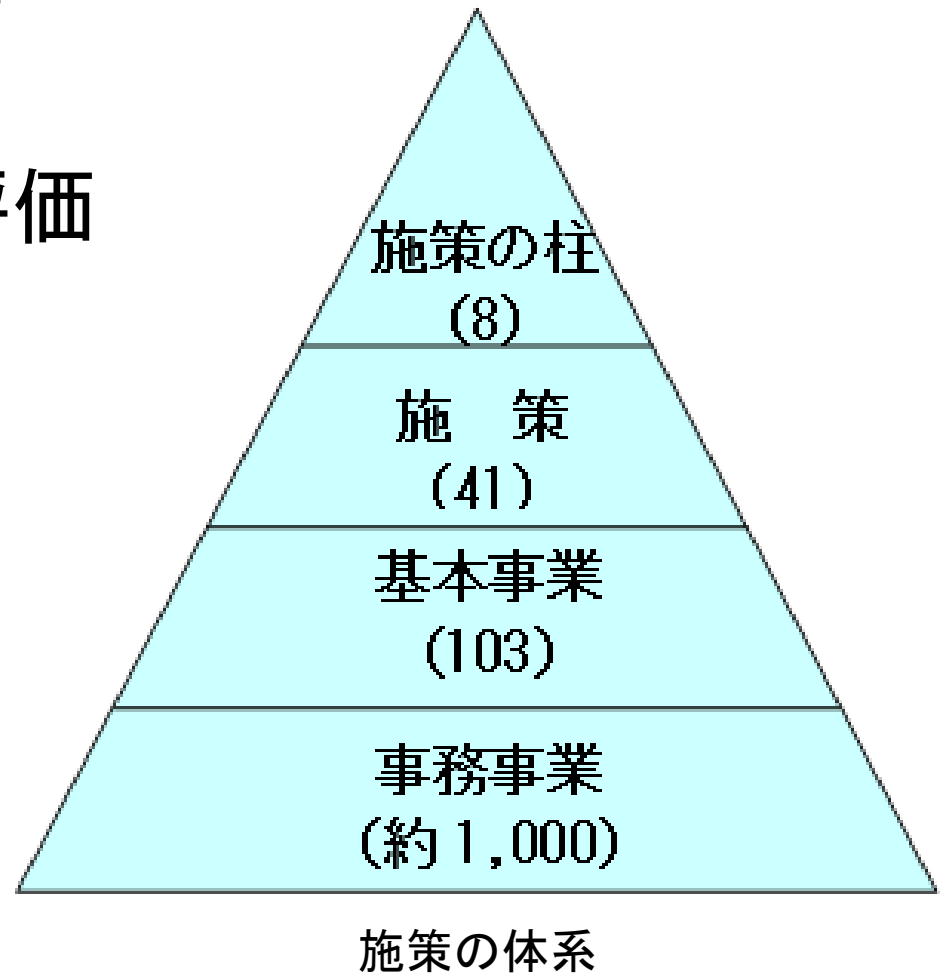
## (3) 目的

- まちづくりの現状と課題を市民に分かりやすく伝えること。
- まちづくりの課題解決に向けて、限られた資源をより有効に活用すること。
- 市の仕事をより価値のあるものとするため、継続的な改革改善を図ること。

## 2 当初の行政評価システム

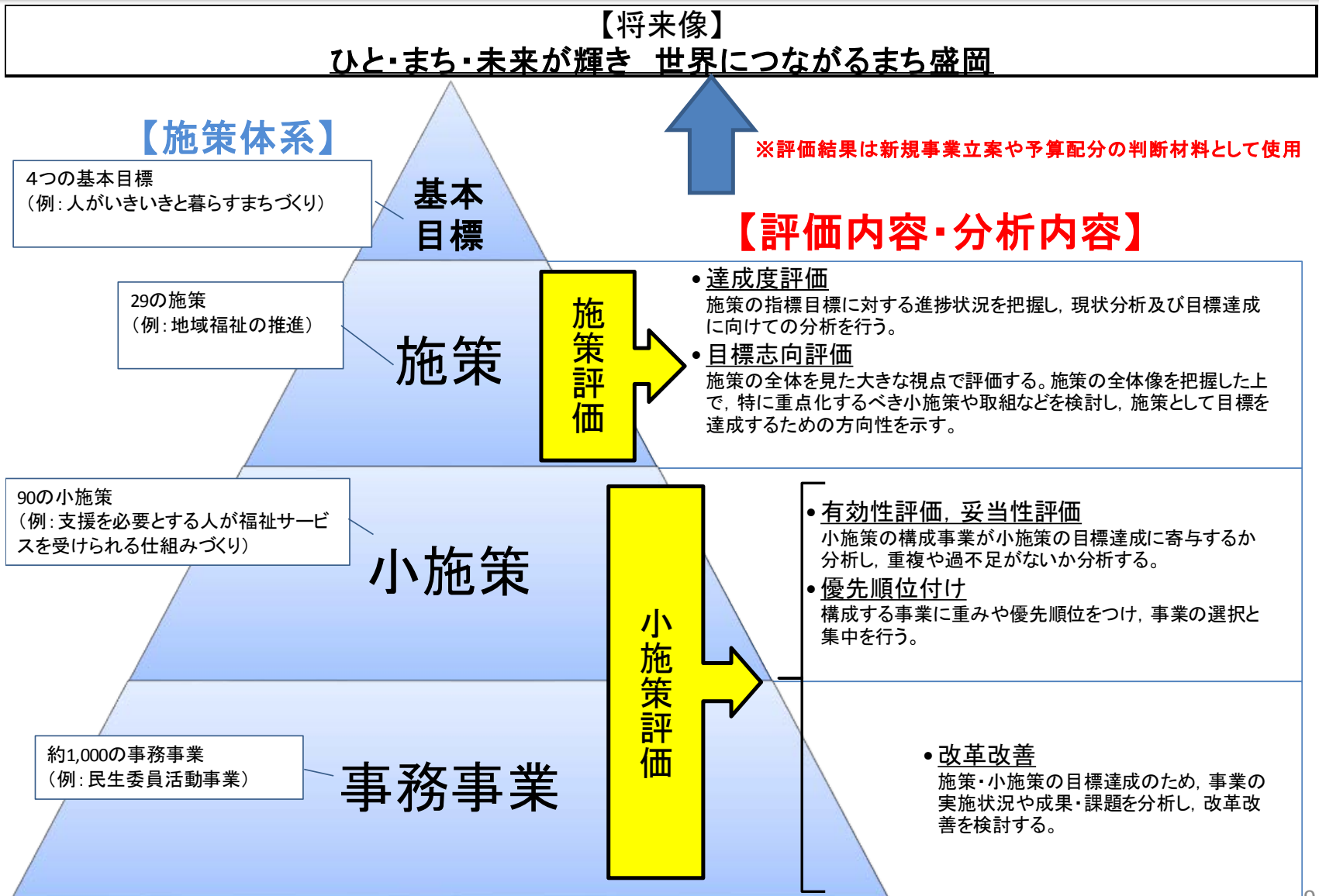
### (1) 行政評価の種類

- 事務事業評価
- 事務事業事前評価
- 基本事業評価
- 施策評価
- 政策評価





# (参考) 現在の行政評価システム



※このほか、戦略プロジェクト評価と事務事業事前評価を行っている。

## 2 当初の行政評価システム

### (2) 成果

- ・ 将来にわたる安定した行財政運営の確保に向けた企画・実施・評価のサイクルによる市政のマネジメントツールとしての定着化
- ・ 限られた財源をより有効に活用する成果重視の行財政運営への転換
- ・ 環境の変化に適切に対応した経営資源配分の最適化

## 2 当初の行政評価システム

### (3) 課題

- 事務事業評価に係る職員の負担感が大きい
- 基本事業の目標達成に向けそれぞれを構成する事務事業がどのように影響を与え合うかが不明瞭
- 事務事業の優先順位付けやスクラップ & ビルドに結び付けにくい
- 施策別予算配分方式が効果的に機能しづらくなった

# 3 行政評価システムの見直し

## (1) 事務事業評価の廃止

- 事務事業評価は評価単位が細分化  
基本事業の目標達成に効果があるか？  
事業同士がどのように影響を与え合う  
のか？
- 事務事業の優先度やスクラップ&ビルドの  
議論に結び付けにくい

⇒ 事務事業評価は廃止し、作業負担を軽減

# 3 行政評価システムの見直し

## (2) 小施策評価の拡充

(ロジックモデルシートの導入)

### ※小施策とは

- 施策の領域を2, 3に細分したものの
- 複数の事務事業により構成される
- 従来の基本事業に相当するもの

# 3 行政評価システムの見直し

## (2) 小施策評価の拡充

(ロジックモデルシートの導入)

小施策ごとにロジックモデルシートを作成。

- 関連事業全体を大きな視点で評価できる
- 重要度や成果の顕在度等がわかりやすい

⇒ 事務事業の優先順位付けに活用

### 3 行政評価システムの見直し

※「ロジックモデルシート」とは？

事業，施策等がそれらの最終成果に至るまでの因果関係（つながり）を示すもの

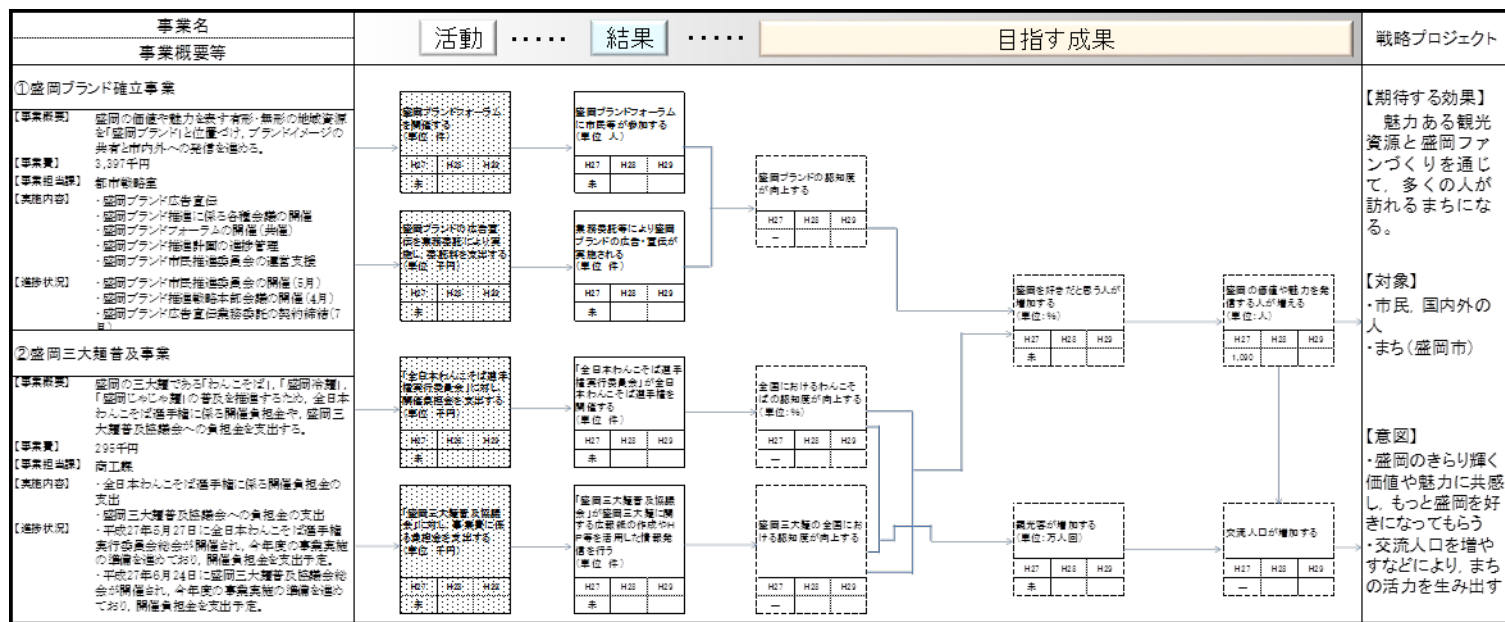
（目的）次の2点を検討する

- 各事業は小施策の目的に貢献しているか
- どの事業を重点化すべきか

# 3 行政評価システムの見直し

## ロジックモデルシート of イメージ

【手段】



【目的】



# 3 行政評価システムの見直し

## (3) 政策評価の廃止

- 重点施策の固定化
- 枠配分を超過した予算要求の常態化
- 複数の施策にまたがる政策課題への対応が困難となっていた

⇒ 予算の重点配分を施策単位から戦略プロジェクトに置き替え, 戦略プロジェクト評価  
及びロジックモデルシートを導入

### 3 行政評価システムの見直し

#### ※ 「戦略プロジェクト」とは？

- 本市の課題を踏まえた重点的・施策横断的な取組
- 概ね3年間を目処に重点的に取り組む事業群
- 現在は3つの取組項目を設定
  - ア 「食と農」・「ものづくり」応援プロジェクト
  - イ みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト
  - ウ 2020あつまる・つながるまちプロジェクト

# 3 行政評価システムの見直し

## ※ 「戦略プロジェクト」とは？

### ア 「食と農」・「ものづくり」応援プロジェクト

施策	重点事業
施策 2 1 農林業の振興	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 食と農の連携推進事業 食と農のバリューアップ推進事業【拡充】 盛岡の食材プロモーション事業</li><li>・ 新規就農支援事業</li><li>・ 畜産振興事業 もりおか短角牛振興事業 もりおか短角牛肥育経営安定化対策事業</li><li>・ 地域おこし協力隊活用事業（玉山地域，大ケ生地区【拡充】，築川地区【新規】）</li></ul>
施策 2 2 商業・サービス業の振興	<ul style="list-style-type: none"><li>・ まちなかマッチング事業</li><li>・ 商店街活性化支援事業 まちなか出店促進事業</li></ul>
施策 2 3 工業の振興	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 新産業等用地整備事業</li><li>・ 工場新設拡充等事業</li><li>・ 工業振興事業 製造業及び情報サービス業市場開拓等事業補助金【拡充】</li><li>・ 産業支援事業</li><li>・ ものづくり産業魅力向上事業</li><li>・ ものづくり人材育成事業【新規・広域】</li><li>・ 盛岡テクノミュージアム設置事業【新規】</li><li>・ 地場・伝統産業振興事業 特産品ブランド振興事業【拡充】</li></ul>

# 3 行政評価システムの見直し

## ※ 「戦略プロジェクト」とは？

### イ みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト

施策	重点事業
施策 2 子ども・子育て、 若者への支援	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 待機児童解消強化事業（定員弾力化補助金）【拡充】</li><li>・ 特別保育事業（延長保育実施施設の拡充）</li><li>・ 保育士確保対策事業（生活支援援助，質の向上支援）</li><li>・ 私立児童福祉施設整備助成事業</li><li>・ 児童館管理運営事業（児童厚生員の適正配置）</li><li>・ 子ども・子育て支援事業計画推進事業</li><li>・ 子ども未来基金事業</li><li>・ 子育て世代包括支援センター事業</li><li>・ 子育て応援プラザ運営事業</li><li>・ 子ども家庭総合支援拠点事業【新規】</li><li>・ 母子保健事業</li><li>・ 乳児家庭全戸訪問等事業</li><li>・ 小児救急輪番制病院事業</li><li>・ 病児・病後児保育事業（施設の新設）【拡充】</li><li>・ 医療費給付事業・ 子育て世帯支援型賃貸住宅改修事業【新規】</li></ul>
施策 4 健康づくり・医療 の充実	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 夜間急患診療所管理運営事業</li><li>・ 予防接種事業（幼児・児童インフルエンザ予防接種補助事業）</li></ul>
施策 17 子どもの教育の充 実	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 就学援助事業（小学校）（学用品費の入学前支給）【拡充】</li><li>・ 就学援助事業（中学校）（学用品費の入学前支給）【拡充】</li></ul>
施策 19 社会を担う人材の 育成・支援	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ワーク・ライフ・バランス推進事業</li></ul>

# 3 行政評価システムの見直し

## ※ 「戦略プロジェクト」とは？

### ウ 2020あつまる・つながるまちプロジェクト

施策	重点事業
施策 1 3 スポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業【拡充】</li> <li>地域おこし協力隊活用事業【新規】</li> </ul>
施策 1 4 「盛岡ブランド」の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>盛岡ブランド確立事業</li> <li>盛岡地区かわまちづくり事業【拡充】</li> <li>移住・定住・交流人口対策事業【新規】</li> <li>地域おこし協力隊活用事業【新規】</li> </ul>
施策 1 9 社会を担う人材の育成・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>いしがきミュージックフェスティバル支援事業</li> </ul>
施策 2 2 商業・サービス業の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>盛岡三大麺普及事業</li> </ul>
施策 2 3 工業の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>地場・伝統産業振興事業（特産品ブランド振興事業）【拡充】（再掲）</li> </ul>
施策 2 4 観光の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域観光推進事業（外国人観光客等受入環境整備・情報発信事業）【拡充】</li> <li>盛岡デー等観光PR事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>盛岡市の物産と観光展開催事業</li> <li>盛岡デー開催事業</li> <li>東北六都市連携による誘客プロモーション事業【拡充】</li> <li>東北絆まつり・岩手もりおか復興フェスタ開催事業【新規】</li> </ul> </li> <li>M I C E 誘致推進事業</li> </ul>
施策 2 8 国際化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>姉妹都市等国際交流事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>ホストタウン機運醸成事業【新規】</li> </ul> </li> </ul>

# 3 行政評価システムの見直し

## (4) 見直しのまとめ

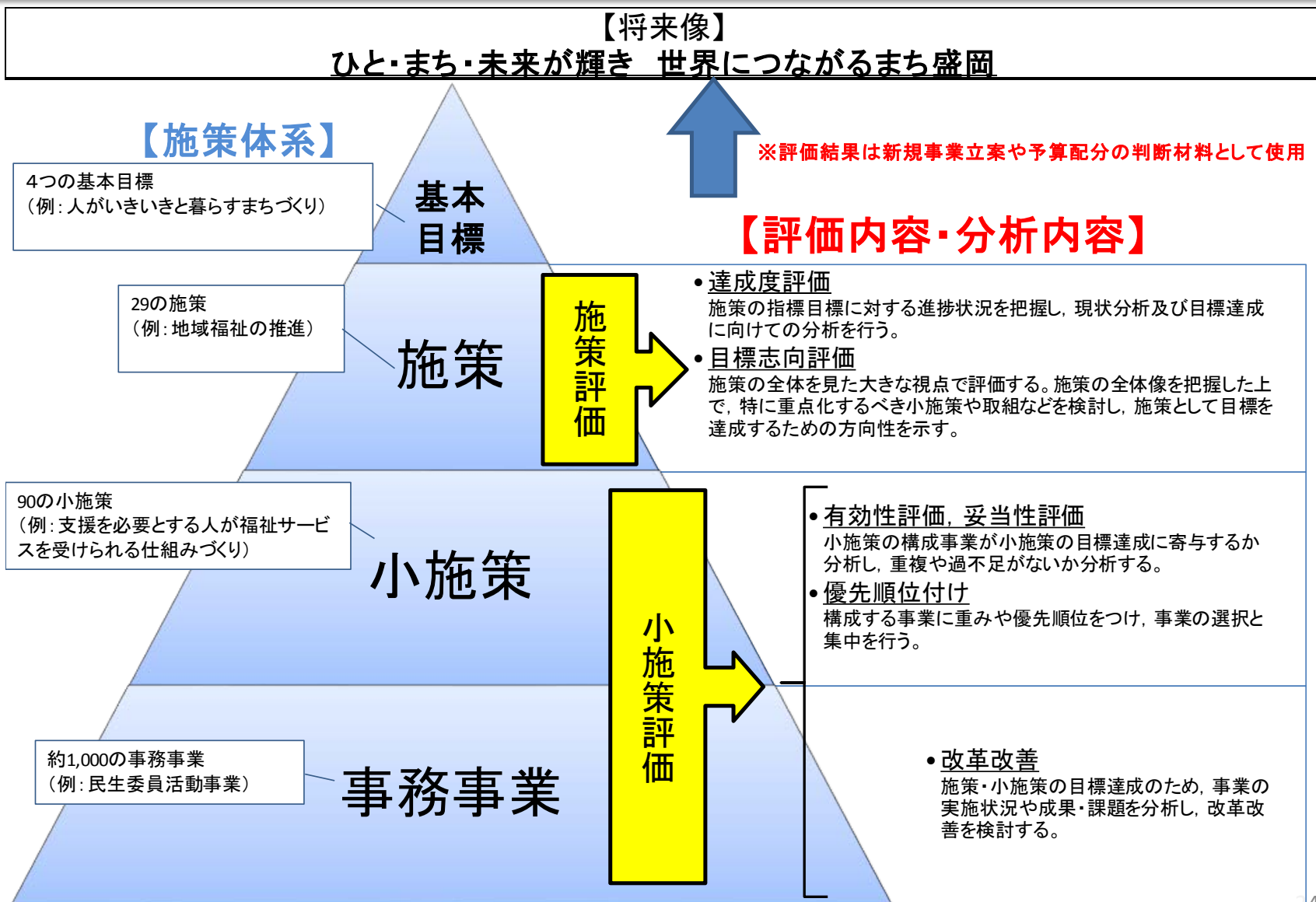
評価の種類		26年度	27年度	28年度
事務事業 評価	事後評価	実施 (25年度分)	実施 (26年度分)	【廃止】
	事前評価	実施 (27~29年度までに 新たに実施する予定 の事務事業)	実施 (30年度までに新たに実施する予定 の事務事業, 事務事業の「対象の拡大」 を行う事務事業及び一般財源の 増額(財源振替等)を伴う既存事 業)	実施 (31年度までに新たに実施する予 定の事務事業, 事務事業の「対象 の拡大」を行う事務事業及び一般 財源の増額(財源振替等)を伴う 既存事業)
基本事業評価 (~H27) 小施策評価 (H28~)		実施 (基本事業評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施(基本事業評価)</li> <li>・導入準備(小施策評価)</li> </ul> ⇒ ロジックモデルシートの作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【廃止】(基本事業評価)</li> </ul> ⇒ 小施策評価に移行 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな手法により実施 (小施策評価)</li> </ul> ⇒ ロジックモデルシートを活用
施策評価	施策達成度評価	実施	実施	実施
	事務事業優先度 評価	実施	実施	実施
政策評価	施策貢献度評価	実施	【廃止】	【廃止】
	施策優先度評価	実施	【廃止】	【廃止】
戦略プロ ジェクト 評価	事中評価		新たな手法により実施 ⇒ ロジックモデルシートを活用	⇒

# 4 現在の行政評価システム

## (1) 行政評価の種類

- 小施策評価
- 施策評価
- 戦略プロジェクト評価
- 事務事業事前評価

# 4 現在の行政評価システム



※このほか、戦略プロジェクト評価と事務事業事前評価を行っている。



## 4 現在の行政評価システム

### (2) 小施策評価(5月～6月に実施)

評価責任者: 課長級

評価内容

- 目的や目標がどこまで達成されたか
- 施策の目標達成に向けた課題や要因分析
- 小施策と構成事業の関係性

評価手法: 事後評価(前年度の実績)

## 4 現在の行政評価システム

### (3) 施策評価(6月～7月に実施)

評価責任者: 部長級

評価内容

- 目的や目標がどこまで達成されたか
- どの小施策, 事務事業を優先(廃止)するか
- 選択と集中

評価手法: 事後評価(前年度の実績)

## 4 現在の行政評価システム

### (4) 戦略プロジェクト評価(7月～8月に実施)

評価責任者: 部長級

評価内容

- 目的や目標がどこまで達成されたか
- どの事務事業を優先するか
- 選択と集中

評価手法: 事中評価

(前年度～評価時点までの実績)

## 4 現在の行政評価システム

### (5) 事務事業事前評価(8月～10月に実施)

#### 対象事業

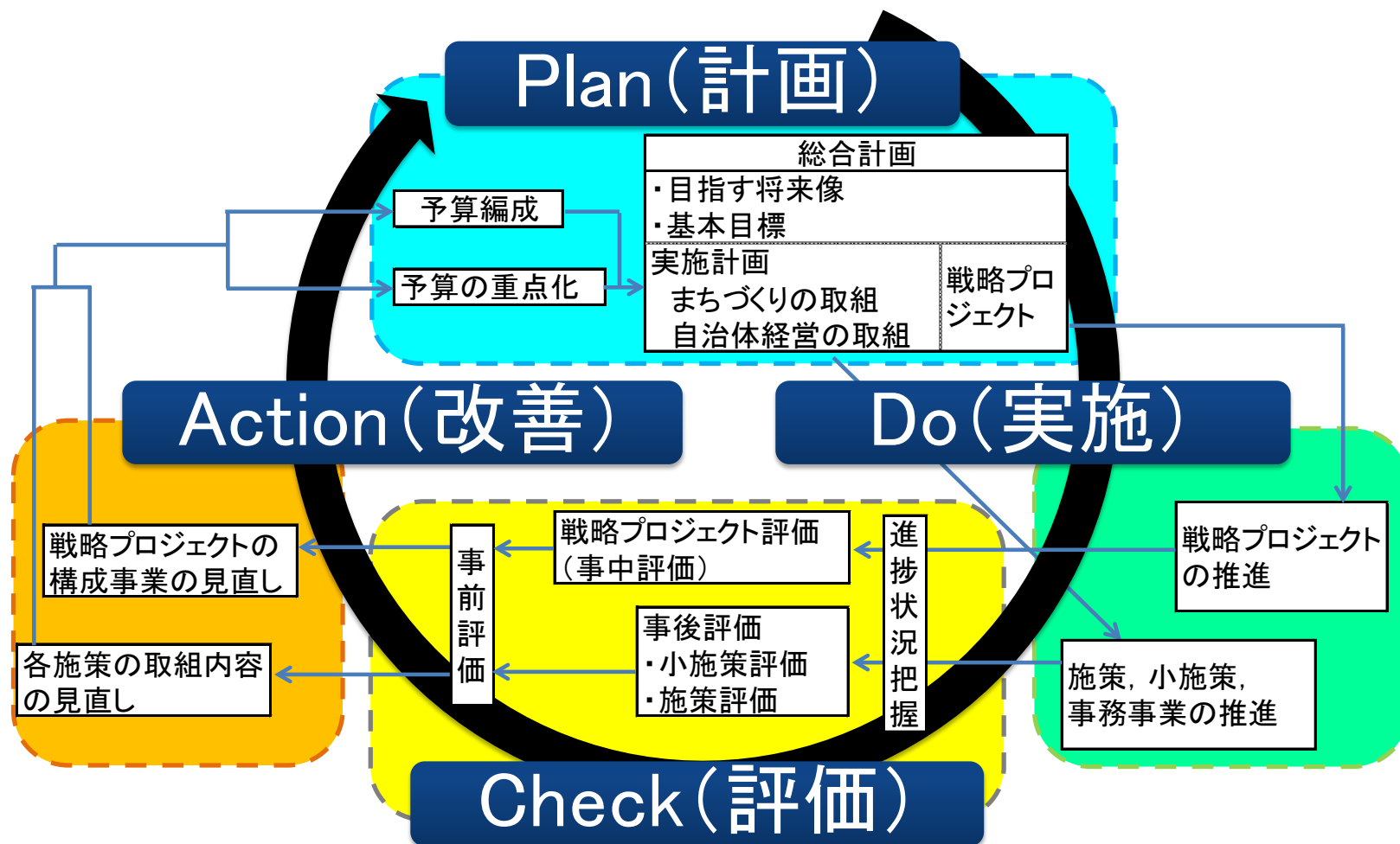
- ・新たに実施する予定の事務事業
- ・基本的な考え方を変更しようとする既存の事務事業

#### 評価手順

- ・一次評価(担当部署)
- ・二次評価(市長公室)
- ・総合計画委員会(市長～部長級)で方向性を決定

# 4 現在の行政評価システム

## (6) 全体イメージ



## 5 これからの課題

### (1) 現行の行政評価システムの課題

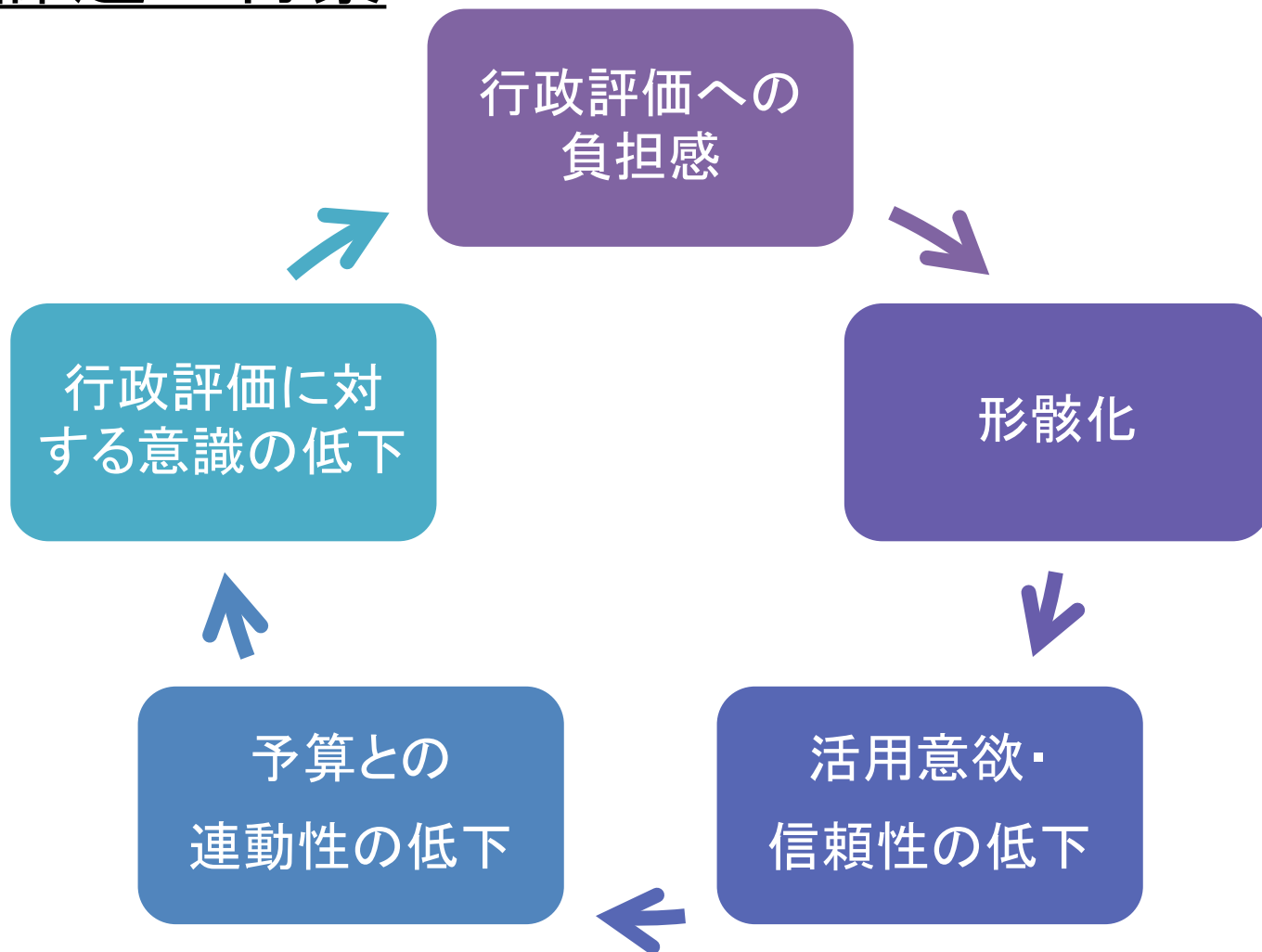
行政評価が有効に活用されているとは  
言い難い状況にある

(例)

- スクラップ&ビルドに至らない
- 評価結果が予算編成に活用されている  
実感がない
- 単なるペーパーワーク化

# 5 これからの課題

## (2) 課題の背景



## 5 これからの課題

### (3) 課題の要因

**選択と集中が進まない**



# 5 これからの課題

## (3) 課題の要因

- 選択と集中への問題意識の低さ
  - 関係者との調整が困難
- 廃止や縮小の検討には消極的  
行政評価結果では新規事業等ばかり注目
- ⇒ 限られた財源の中では全ての新規事業の  
予算化は困難
- ➡ 評価結果と予算編成に乖離が発生

## 5 これからの課題

### (4) 対応方針

**『成果意識の徹底』**

## 5 これからの課題

### (4) 対応方針

- 少ない資源で従前以上の成果を挙げることを評価する風土づくり
- 思い切った選択と集中を行う風土づくり
- 成果を重視したロジックにより関係者へのアカウンタビリティの強化
- 成果(終期)を意識した新規事業立案

## 5 これからの課題

### (5) 具体的な取組案

- 評価シートの見直し
- 小施策評価のチェック機能強化
- スクラップも含めた行政評価結果を議論する場の提供
- 小施策評価結果と事務事業事前評価の連携強化
- 評価実施担当者や事業立案者への研修

## 6 おわりに

行政評価システムづくりやその有効活用は  
まだまだ道半ば

**不断の改革改善が必要**

ご清聴

ありがとうございました